

7月

令和8年6月30日
みどり幼稚園



みどり



梅雨の季節となりましたが、さわやかな初夏の日が続いております。

「かたつむり、ふたり連れてきたよ。ほらっ！」と手の平にはかたつむりが2匹。子どもたちにとって虫たちは本当にもだちなんだなあと思う一瞬でした。

6月25日、地震のため休園

先週の木曜日、震度6の強い地震があり、安全確認のため休園とさせていただきました。今回の地震ではホールの天井の桟が外れてきたため、その日のうちに修繕をお願いし、復旧することができました。地震は子どもたちが登園していない時間でしたが、いつ、どんな時、地震が発生するのかわかりません。引き続き、安全に関する体制を強化し、子どもたちを守る備えをしたいと思っております。

運動会へのご協力、応援ありがとうございました。

先日の運動会では子どもたちはそれぞれの力を出して運動会を行うことができました。特に年長組さんは今回が幼稚園での最後の運動会。朝、クラスのみんなど励まし合いながらの練習はとても熱心で少し誇らし気にも見えました。いつもその練習の様子を戸口で見つめている小さい組さんたちにとってばら組さんは、あこがれの存在なのかもしれません。この頃は、自作の太鼓を作って遊ぶのがブームになっています。

保護者の皆様には準備、片付け、子どもたちへの応援とたくさんご協力をいただきました。また、競技へも参加していただき、そのパワフルな姿に思わず見入ってしまう場面もありました。

子どもたちを中心としてご家族の皆様と一緒に運動会ができましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

もうすぐ夕涼み会

7月25日(土)は子どもたちの楽しみにしている夕涼み会です。

今年も父母の会の皆様が新しいコーナーを考えてくださったりおみやげを準備してくださっています。この日は3月に卒園した1年生が招待されております。どうぞ、ご家族で夕涼み会をお楽しみください。

園長 正部家 朱美



保育目標 (7月)

- *夏の遊びを思いきり楽しみ、保育者や友達と関わりながら、開放感を味わう。
- *七夕の由来を知り、星に関心をもつ。また、いろいろな素材にふれ、切ったり貼ったりする事を楽しむ。

7月の園行事



月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
			わくわく教室 ④	給食参観	預かり保育
6	7	8	9	10	11
	お弁当の日 プラネタリウム 鑑賞(年長組) 七夕		英語教室 (年中組) (年長組) ぴよちゃん クラブ	南部会館見学 (年少組)	休園
13	14	15	16	17	18
	個人面談	個人面談	個人面談	誕生会 (7・8月)	預かり保育
20	21	22	23	24	25
海の日 (休園)		終業式 11:30帰り	夏休み 開始		夕涼み会

★夕涼み会
7月25日(土)については、
内容が決まり次第お知らせ致
します。

8月の園行事

21	金	二学期始業式 降園11:30
24	月	13:50帰り・給食開始
28	金	お弁当の日

令和7年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和8年3月17日(火)・18日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの発想を生かす造形遊び	B	△子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。 ○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。 ○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。
2	発達の特性に応じた運動遊び	C	○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。 ○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。 △前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。 ○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。
3	園内研修の充実	B	○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。 △研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。 ・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。 ・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。 ・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。 ・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かすにつなげるようにしていきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かした造形的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。 ◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。 ◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。 ◎クラス的环境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。 ◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)
2	発達特性に応じた運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。 ◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。 ◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。 ◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)
3	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。 ◎リトミックや運動遊びを学び合う。 ◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりをみて、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることができた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると考える。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。